

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

楽らく遊ゆう学がく

第319号

2025(令和7)年10月
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

特集

世代交流と文化芸術に触れる場づくり
「小さな丘のメリークリスマス実行委員会」



(「小さな丘のメリークリスマス実行委員会」の皆さん)

- P.2 特集「小さな丘のメリークリスマス実行委員会」
- P.3 連載「シリーズわがまち港北」第240回 林 宏美 著
- P.4 区民活動支援センターからのお知らせ

毎年12月に開かれるイベント「小さな丘のメリークリスマス」は、横浜市大倉山記念館（以下「記念館」）という大倉山のランドマークをベースに地域の子もたちが文化・芸術に触れる場として開催されています。1985年に実行委員会が設立され、40年の長きにわたり続けられてきました。発足のきっかけや長年継続するための工夫、活動への想いを初期の頃から関わっている実行委員のメンバーに伺いました。

丘の上のクリスマスイベントは、気軽に文化に触れられる場



「文化に触れさせてあげたい」という母たちの思い

1984年に記念館として生まれ変わったタイミングでクリスマス会が開かれ、その時に企画等に関わったメンバーが主な実行委員となり、翌年第1回目となる「小さな丘のメリークリスマス」が開催されました。

実行委員会には、学校のPTAで知り合ったお母さんたちが集まり、その中にお茶の師範の資格を持つ人やお花を教えられる人などがいて、「子どもたちに文化に触れさせてあげたい」という思いから、実行委員それぞれの特技を生かす運営を続けてきたそうです。布おもちゃを手作りしたり、地域の人に運営を協力してもらうなど、活用できる資源とネットワークを作ることで、40年継続してこられました。



昨年、40年分のちらしやプログラムを展示しました。



過去の受付の様子

子どもの時に参加した人が自分の子どもを連れて来てくれることがあります。楽しい思い出が受け継がれているのも、長く続いてきたこのイベントだからこそです。

若い世代のボランティア活動参加へのアプローチ

企画が大きくなるにつれ人手が足りなくなり、地域の中学校に声をかけをしたところボランティアとして参加してくれました。近年は学校や社会の変化により奉仕活動に関心が高まったことで、近隣の大学生などがボランティアに多く参加するようになりました。今では大学生たちが企画の中心を担っていて、やりがいを感じて継続的に参加しているそうです。また、以前遊びに来た子どもたちが、成長してボランティアに参加してくれることもあるそうで、幅広い世代の交流の場となっています。

「今年は第41回を迎えるので、多くの子どもたちに楽しんでもらえるよう、ますます企画に力が入っています。」と実行委員。クリスマスを感じられる楽しいイベントにぜひお出かけください♪



過去の様子

ボランティア&団体募集中

事前準備や当日の運営等に協力していただけるボランティアや団体を募集中！一緒に地域を盛り上げていきましょう♪

【問合せ】

港北区地域子育て支援拠点どろっぷ

TEL:045-540-7420

第41回

小さな丘のメリークリスマス

日時：12月7日（日）10：00～15：00

場所：大倉山記念館（港北区大倉山2-10-1）

入場
無料

＜プログラム（予定）＞ ☆コンサート（ホール）

・木工教室 ・おもしろ科学教室 ・キャンドルスタンド ・レジンのアクセサリ作り
・わくわくすくいランド ・ハンドベル体験 ・布おもちゃで遊びましょう など



天野青年学校と天野記念館

令和7年(2025年)6月、新横浜駅北口歩道橋に「AMANOサークルウォーク」の愛称がつけました。これは大豆戸町に本社を置くアマノ株式会社(以下、「アマノ」と記載。)が、地元根に根ざす企業として会社を知ってほしいとの思いから、横浜市と歩道橋のネーミングライツ契約を締結したことによるものです。契約は令和12年(2030年)3月までで、その間は愛称の標示が掲げられます。

アマノは、昭和6年(1931年)に天野修一が東京市蒲田區南六郷(現、大田區南六郷)に創業した天野製作所がはじまりです。アマノの製品といえば、タイムレコーダーやコインパーキングの精算機などを利用したことがある方も多いでしょう。創業者天野修一については、シリーズわがまち港北 第107回「横浜文化賞一鈍根運の天野修一」で紹介しています。上のQRコードからぜひご覧ください。

蒲田で創業した天野製作所が、現所在地となる菊名駅近くに横浜工場を構えたのは、昭和13年(1938年)のことです。横浜工場の敷地内には終戦まで天野青年学校を設けていました。青年学校は昭和10年(1935年)に公布された青年学校令に基づく教育機関で、小学校卒業後に進学せず働く青少年が、教育を受けるために設置された学校でした。今でいう定時制学校に近いイメージでしょうか。

天野青年学校は、昭和13年12月27日に神奈川県へ設立申請を行い、翌14年(1939年)3月17日に認可されました。同年4月1日より授業を開始し、生徒たちは就労前に学校へ通い、勉学や軍事教練に励みました。開校当時、現在の港北区域にあたる地域にあった青年学校は、公立が大綱・日吉台・城郷・新田の4校、私立は天野青年学校の1校だけでした。

かつて、天野製作所で働きながら青年学校で学んだ生徒の一人が、大豆戸町の武田信治さんです。武田さんは、昭和19年(1944年)に大綱国民学校を卒業した後、自宅近くの天野製作所で働くことになり、就労前に青年学校で学んだそうです。武田さんは『伝えたい、街が燃えた日々を一戦時下横浜市域の生活と空襲一』(横浜の空襲を記録する会、2012年)に手記を掲載しています。「港北映像ライブラリ」の「港北ふるさと人物伝」には、武田さんご自身が当時を語る映像もありますので、こちらも合わせてご覧ください。

『天野特殊機械30年史』(1960年)には、戦争中に関東学院中等部から工場へ動員された学生による感想文が掲載されているので、一部を引用します。

(前略)入所式後昨日(昭和19年7月27日)まで教室に於て色々の学科を学び、今まで知らなかった事も知りました。又此の工場の製品は我が日本に於ても、二カ所位しか出来ぬと聞かされ、大変やり甲斐がある事を知りました。19日サイパン島将兵全員戦死の報がもたらされ、覚悟を新たにしました。環境は京浜工業地帯と異り、空気もいいし、雑音と云えば機械の音の他は、東横電車の通る音だけで、芝浦方面の工場の様に、あくせくした感じがなく、落付いて出来ると思います。教室が青年学校を指すのかはわかりませんが、緊迫した戦況と穏やかな工場との対比が印象的です。

戦後、天野青年学校は閉校となり、昭和21年(1946年)7月、横浜大空襲で神奈川區台町の校舎を失った高木学園が敷地と校舎を取得しました。校舎は昭和33年(1958年)に鉄筋コンクリートの新校舎が完成するまで、増改築を重ねながら使用されました。来年、令和8年(2026年)は天野修一の没後50年、そして天野が私財の一部を投じて設立した公益財団法人天野工業技術研究所の設立65周年という記念の年にあたります。この2つの節目を控えた今年8月、静岡県浜松市浜名區細江町に細江天野記念館が開館しました。

記念館は、天野が晩年を過ごした「細江山荘」を改修して整備したものです。天野は日吉に自宅を構えていましたが、昭和44年(1969年)に完成した自らの理想工場、細江工場を見渡せるこの山荘を終の住処としました。記念館には、設立者の理念と軌跡を伝える展示ブースがあり、予約制で見学ができます。

「天野記念館」は細江町以外に、大豆戸町の本社敷地内に昭和52年(1977年)に建設されたもの、そして生地である三重県鈴鹿市石薬師町にもあります。石薬師町の記念館は、昭和39年(1964年)に天野自身が寄贈したもので、今も地域の集会所として使用されています。ちなみに、ここから徒歩1分程の距離に、同郷の歌人・佐佐木信綱の記念館もあります。信綱は大倉山記念館の施主・大倉邦彦や設計者・長野宇平治と親交があったこと、大綱小学校の校歌の作詞者であることは、第83回「大倉山記念館をめぐる人々その1」でご紹介しました。こちらも上のQRコードからお読みいただけます。

AMANOサークルウォークを歩いていると、思わず新横浜駅から東海道新幹線に乗って、これらの記念館を訪ねる旅に出かけたいなりそうです。

記: 林 宏美(公益財団法人大倉精神文化研究所図書館運営部長 兼 研究員)

区民活動支援センターからのお知らせ

秋から冬にかけて、楽しいイベントや講座が盛りだくさん！ 詳細・申込はこちら ➡



日吉の本だな交流イベント【無料】

港北区 講座イベント情報

検索

10月

区役所の歯科衛生士と一緒にチェック！ お口の健口(けんこう) 講座

オーラルフレイル(お口の衰え)の予防を学び、健口体操でお口のまわりの筋肉を鍛えましょう。

日 時: 10月30日(木) 各回60分
入替制 (2回とも同じ内容)
①13:30～ ②15:00～

定 員: 各回大人(18歳以上) 5人

※応募多数の場合は抽選

応募締切: 10月23日(木)

11月

乳幼児期の食育セミナー ぱくぱくすこやか相談

離乳食等が進まない、むら食いなど、気になることを管理栄養士に相談してみませんか。

日 時: 11月26日(水) 各回45分
①離乳食編(月齢5～12か月)10:15～
②幼児食編(1歳～3歳)11:15～

定 員: 対象のお子さんと保護者、各回5組

※応募多数の場合は抽選

応募締切: 11月18日(火)

12月

冬の絵本を楽しもう！

リコばあばのおはなし会「ふゆ」

ポケットシアターや手遊びなど、おやこで楽しむおはなし会です。

日 時: 12月2日(火) 各回30分
入替制 (2回とも同じ内容)
①10:30～ ②11:30～

定 員: 各回5組

※応募多数の場合は抽選

応募締切: 11月24日(月)

会 場: 日吉の本だな(慶應義塾大学協生館1階: 日吉4-1-1)

港北地域学講座

第1回 外国人住民の声から学ぶ港北の今

国際交流ラウンジ25年のあゆみや活動紹介、外国人住民の方々に日本での生活について、お話をうかがいます。

日 時: 11月22日(土)10:00～12:30

定 員: 30人(応募多数の場合は抽選)

会 場: 港北国際交流ラウンジ(大豆戸町316-1)

参加費: 無料

応募締切: 11月7日(金)

緑と花の楽しみづくりワークショップ2025

第3回 彩(いろどり)のカラーリーフワークショップ

フローラルつなしま指導のもと、葉の色や形を楽しめるカラーリーフを取り入れた寄せ植えや花だんの作り方を学びます。カラーリーフのお土産つきです。

日 時: 11月16日(日)10:00～11:30

定 員: 20人(応募多数の場合は抽選)

会 場: 港北区役所4階1号会議室

参加費: 500円

応募締切: 11月9日(日)



©港北区ミズキー

「2025ふるさと港北 ふれあいまつり」・「秋 のヨコアリくんまつり」 合同開催！

「秋のヨコアリくんまつり」で港北区「まちの先生」の活動をご紹介します♪

- ①10:00～ バルーンアート
- ②12:00～ あやとり
- ③14:00～ 折り紙

開催日: 11月8日(土)

開催時間: 10:00～15:00

場 所: 横浜アリーナ 2階
(センテニアルホール・ロビー)

主催: 株式会社 横浜アリーナ

ご意見ご感想をお寄せください

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.lg.jp

港北区区民活動支援センター

検索

★開館時間★ 月～金曜 8時45分～17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷